



株式会社日本バイオリサーチセンター

Nihon Bioresearch Inc.

〒501-6251 岐阜県羽島市福寿町間島6丁目104番地

TEL 058(392)2431 FAX 058(392)2432

URL: http://www.nbr.co.jp/

今回は中枢試験でオファーの多い“不安”動物モデルの一つをご紹介します。

<恐怖条件付け試験>

防音箱内の底に設置された金属グリットからの電気刺激(恐怖条件付け)によって生じる状態(無動)を“不安”とみなし、被験物質の抗不安作用を評価します。

【試験系】

動物：C57BL/6NCrlCrlj♂マウス、11週齢(使用時)

【試験方法】

マウスを電気刺激装置に入れ、ブザーの後に電気刺激を行う。その操作を繰り返し、ブザーを鳴らした後の無動時間(不安で体が硬直して動かない時間)を測定します。

【測定項目】

無動時間

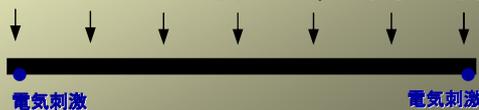
【投与期間】

7日間

<測定装置>

フェードコンディショニング計測装置・防音箱内は底に通電のための金属グリットを設置した箱であり、マウスが動いた時のモニター画像のズレを検出し、無動化を自動的に測定する。

Fluvoxamine、またはmilnacipran投与(7日間)

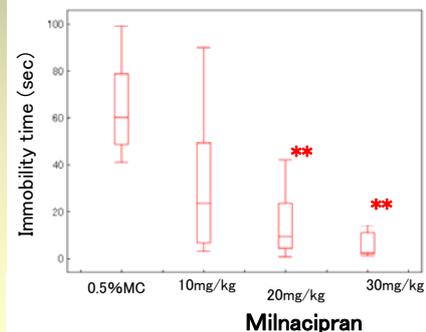


電気刺激

電気刺激

その他“不安”モデルには嗅球摘出ラットを用いた高架式十字迷路試験などがあり、目的によって選択致します。

【試験結果】



** p<0.01 vs 0.5%MC



こちらから
(株)日本バイオリサーチセンター
業務企画部の連絡先が入手できます。

『心の絆 - その14 -』

弊社の前には長良川の支流で逆川という小さな川があります。その川に数年前から鴨が10数羽住みつくようになりました。一冬をこの川で過ごし、春の訪れとともに去っていきます。今年の10月は暑く、連日20度を超す日々でしたが、先日、数羽の鴨を見つけました。今年もこの川を忘れず戻ってきました。水草をついばみながら、のんびりと肢を進める姿に心が癒されます。鴨の横を大きな鯉が泳いでいます。他生物との共生、共存を感じる時です。地球上で一番に知恵が出せる人間は人を中心にして歴史を進めてきました。人のためと称し、他生物の命を必要以上に奪ってきました。山や川そして海の環境破壊はその歪の一つです。すべての生物は共生し合い、それぞれの生物の種が保存されないといけません。逆川の光景は来年も、そしていつまでも在り続けて欲しい風物詩です。

お知らせ:

- マウスの生殖発生毒性試験についてご紹介します。

佐部利 典彦のアートギャラリー(14)

岐阜県出身(1969~)

作品解説

作品タイトル: 「non-title」

技法: なし

夏休みに、大きな画面に子供たちと思いっきりアートをしました。縦3m×横30mの和紙です。和紙は、絵の具がにじんだりして、とても美しいです。スポンジやローラーを使ったり、時には絵の具をそのまま飛び散らせてみたり、のびのびと活動していきます。私の役割は、そのできた美しさを伝えることです。

